

On Demand Migration Suite T1の事前準備

On Demand Migration(ODM)を利用するには、以下の準備が必要です。

1. 移行元Microsoft 365で移行サービスアカウントを作成する

- ユーザーの役割でグローバル管理者権限を付与する
- ユーザーのライセンスでMicrosoft 365 E5などのライセンスを割り当てる
- ユーザーのアプリでExchange Online、SharePointを有効にする
- ユーザーの多要素認証で多要素認証を無効化する

2. 移行先Microsoft 365で移行サービスアカウントを作成する

- ユーザーの役割でグローバル管理者権限を付与する
- ユーザーのライセンスでMicrosoft 365 E5などのライセンスを割り当てる
- ユーザーのアプリでExchange Online、SharePointを有効にする
- ユーザーの多要素認証で多要素認証を無効化する

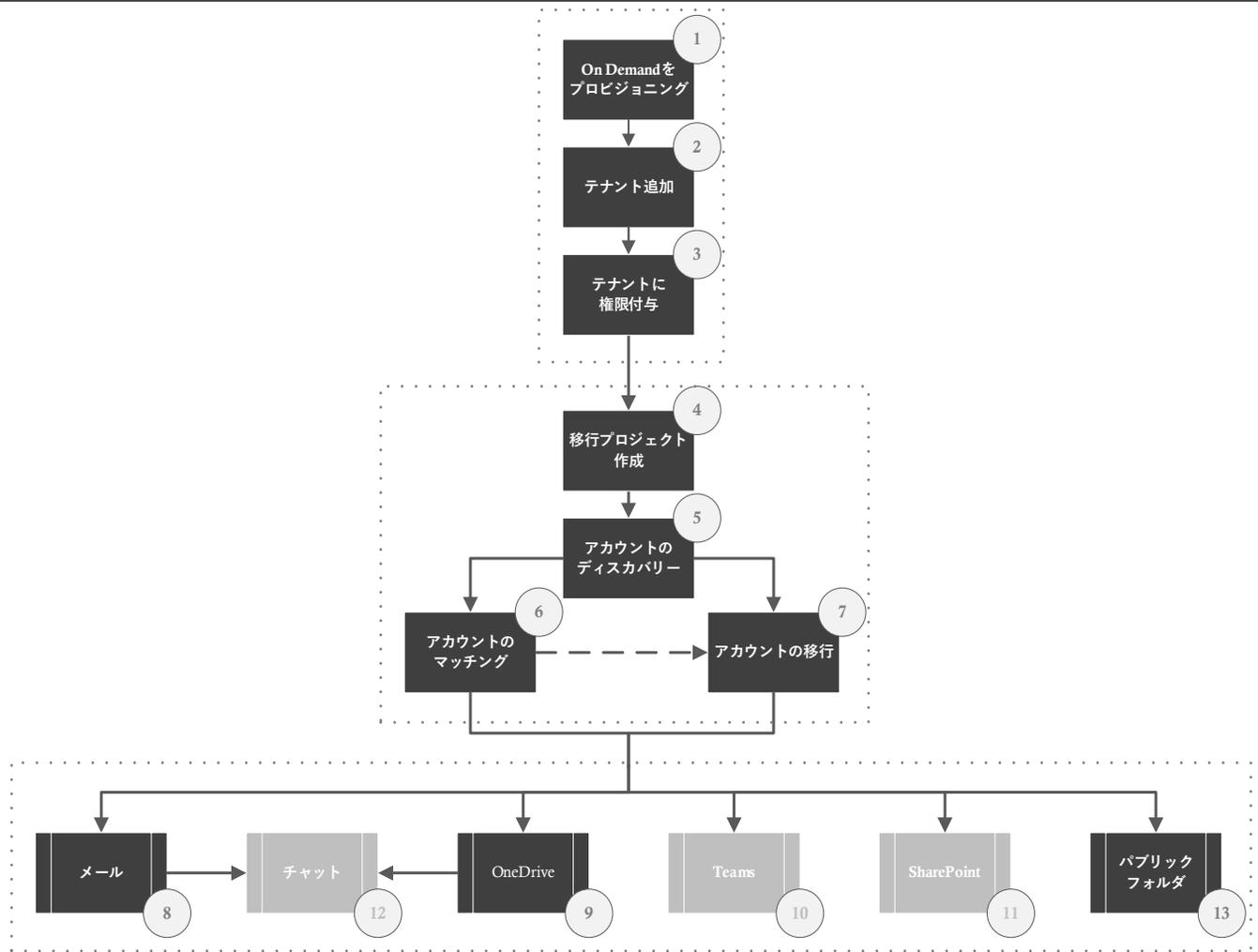
3. 移行先Microsoft 365で作業用アカウントを作成する ※ 作業用アカウントを使用する場合

- ユーザーの役割なし
- ライセンスなし

4. 移行先パブリックフォルダメールボックスを作成する ※ パブリックフォルダ移行を実施する場合

- パブリックフォルダのルートアクセス許可に移行サービスアカウントを追加する

On Demand Migration Suite T1の操作手順



On Demand Migrationの操作手順 #1

ライセンス所有者が以下のステップを実行し、ODM環境をプロビジョニングする。

1. On Demandポータルへサインイン

- ① ブラウザでOn Demandポータルを開く
- ② On Demandポータルにアクセス可能なアカウント情報でサインインする

2. On Demand環境をプロビジョニング

- ① 任意の組織名を入力し、リージョンを選択し、On Demand環境を作成する

3. On Demand環境に移行元テナントを追加

- ① My Dashboardメニューの[Add Tenant]をクリックする
- ② Add Tenantで[OK]をクリックする
- ③ 移行元テナントのグローバル管理者権限を持つ移行サービスアカウントでサインインする
- ④ 要求されているアクセス許可 組織のレビューで[承諾]をクリックする
- ⑤ 移行元テナントが追加される

4. On Demand環境に移行先テナントを追加

- ① My DashboardメニューのMigrationセクションの[ADD TENANT]をクリックする
- ② Add Tenantで[OK]をクリックする
- ③ 移行先テナントのグローバル管理者権限を持つ移行サービスアカウントでサインインする
- ④ 要求されているアクセス許可 組織のレビューで[承諾]をクリックする
- ⑤ 移行先テナントが追加される

On Demand Migrationの操作手順 #2

5. 移行元テナントの権限を追加

- ① Tenantsメニューをクリックする
- ② 移行元テナントの[EDIT CONSENTS]をクリックする
- ③ MigrationセクションのBasicの[Grant Consent]をクリックする
 - テナントの追加時にグローバル管理者権限を持つ移行サービスアカウントを使用
- ④ 要求されているアクセス許可 組織のレビューで[承諾]をクリックする
- ⑤ Azure Active Directory管理センターのエンタープライズアプリケーションにQuest On Demand – Migration – Basicが追加される
- ⑥ MigrationセクションのMailbox Migrationの[Grant Consent]をクリックする
 - テナントの追加時にグローバル管理者権限を持つ移行サービスアカウントを使用
- ⑦ 要求されているアクセス許可 組織のレビューで[承諾]をクリックする
- ⑧ Azure Active Directory管理センターのエンタープライズアプリケーションにQuest On Demand – Migration – Mailbox Migrationが追加される
- ⑨ MigrationセクションのSharePointの[Grant Consent]をクリックする
 - テナントの追加時にグローバル管理者権限を持つ移行サービスアカウントを使用
 - ※ OneDrive移行を実施する場合はSharePointの権限を付与する必要あり
- ⑩ 要求されているアクセス許可 組織のレビューで[承諾]をクリックする
- ⑪ Azure Active Directory管理センターのエンタープライズアプリケーションにQuest On Demand – Migration – SharePointが追加される

On Demand Migrationの操作手順 #3

6. 移行先テナントの権限を追加

- ① Tenantsをクリックする
- ② 移行先テナントの[EDIT CONSENTS]をクリックする
- ③ MigrationセクションのBasicの[Grant Consent]をクリックする
 - テナントの追加時にグローバル管理者権限を持つ移行サービスアカウントを使用
- ④ 要求されているアクセス許可 組織のレビューで[承諾]をクリックする
- ⑤ Azure Active Directory管理センターのエンタープライズアプリケーションにQuest On Demand – Migration – Basicが追加される
- ⑥ MigrationセクションのMailbox Migrationの[Grant Consent]をクリックする
 - テナントの追加時にグローバル管理者権限を持つ移行サービスアカウントを使用
- ⑦ 要求されているアクセス許可 組織のレビューで[承諾]をクリックする
- ⑧ Azure Active Directory管理センターのエンタープライズアプリケーションにQuest On Demand – Migration – Mailbox Migrationが追加される
- ⑨ MigrationセクションのSharePointの[Grant Consent]をクリックする
 - テナントの追加時にグローバル管理者権限を持つ移行サービスアカウントを使用
 - ※ OneDrive移行を実施する場合はSharePointの権限を付与する必要あり
- ⑩ 要求されているアクセス許可 組織のレビューで[承諾]をクリックする
- ⑪ Azure Active Directory管理センターのエンタープライズアプリケーションにQuest On Demand – Migration – SharePointが追加される

On Demand Migrationの操作手順 #4

7. 作業者アカウントにOn Demand環境の操作権限を付与 (必要な場合に実施)

- ① Access Controlメニューを展開し、Usersをクリックする
- ② Add User to Organizationで以下を設定し、[ADD]をクリックする
 - User Nameに作業用アカウントを追加
 - [On Demand Administrator]、もしくは[Migration Administrator]を選択
- ③ Organization Usersにユーザーが追加される
- ④ ODMを終了するには、右上のメニューをクリックし、[Sign Out]をクリックする

On Demand Migrationの操作手順 #5

データ移行作業者が以下のステップを実行し、データを移行する。

1. On Demandポータルへサインイン

- ① ブラウザでOn Demandポータルを開く
- ② On Demandポータルにアクセス可能なアカウント情報でサインインする

2. On Demand環境でMigrationプロジェクトを作成

- ① My DashboardのMigrationセクションで[**CREATE MIGRATION PROJECT**]をクリックする
- ② MigrationのMY PROJECTSで[**CREATE PROJECT**]をクリックする
- ③ New ProjectのSelect Source and Targetで以下を選択し、[**Save and Continue**]をクリックする
 - Source tenantで移行元テナントを選択
 - Target tenantで移行先テナントを選択
- ④ New ProjectのProvide Admin Consentで以下を入力し、[**Save and Continue**]をクリックする
 - Source tenant のAdministrator email addressに移行サービスアカウントのメールアドレスを入力
 - Source tenant のPasswordに移行サービスアカウントのパスワードを入力
 - Target tenant のAdministrator email addressに移行サービスアカウントのメールアドレスを入力
 - Target tenant のPasswordに移行サービスアカウントのパスワードを入力
- ⑤ New ProjectのProject Createdで以下を選択し、[**Finish and Close**]をクリックする
 - Open projectを選択 (既定の設定)
- ⑥ Migrationメニューの該当プロジェクトのDASHBOARDが開く

On Demand Migrationの操作手順 #6

3. プロジェクトでアカウントをディスカバリー

- ① DASHBOARDのAccounts MigrationのWelcomeセクションを確認
 - ☛ WelcomeセクションのGrant Consentはの場合は次のステップへ
- ② Accounts MigrationのWelcomeセクションのDiscover Accountsの[DISCOVER]をクリックする
- ③ ACCOUNTSタブの[DISCOVER ACCOUNTS]を実行する
- ④ New Account Discovery TaskのDiscovery Optionsの[Discovery all users]を選択し、[Next]をクリックする
- ⑤ New Account Discovery TaskのScheduleの[Run now]を選択し、[Next]をクリックする
- ⑥ New Account Discovery TaskのSummaryの[Finish]をクリックする
- ⑦ 移行元Microsoft 365テナントのアカウントが表示される
 - ☛ アカウントのディスカバリーの状況はTASKSタブ、EVENTSタブで確認可能
 - ☛ アカウントのディスカバリーの完了後、WelcomeセクションのDiscover Accountsはになる
- ⑧ プロジェクト名をクリックする (次はMATCH、もしくはMIGRATEを実行)

On Demand Migrationの操作手順 #7

4. プロジェクトでアカウントをマッチング

- ① Accounts MigrationのWelcomeセクションのMatch Accountsの[**SELECT**]をクリックする
- ② ACCOUNTSタブで**マッチング対象のアカウントを選択**し、[**MATCH**]をクリックする
- ③ New Matching TaskのAccount matchingを選択し、[**Next**]をクリックする
 - [**Match by attributes**]を選択
 - [**Source attributes**]を選択
 - [**Target attributes**]を選択
- ④ New Matching TaskのScheduleの[**Run now**]を選択し、[**Next**]をクリックする
- ⑤ 移行元アカウントと移行先アカウントがマッチングされる
 - ☛ アカウントのマッチングの状況はTASKSタブ、EVEVTSタブで確認可能
 - ☛ アカウントのディスカバリーの完了後、WelcomeセクションのMatch Accountsが  になる
- ⑥ プロジェクト名をクリックする (次はMIGRATE、もしくはデータ移行を実行)

On Demand Migrationの操作手順 #8

5. プロジェクトでアカウントをマイグレーション (※ ODMでアカウントを移行する場合)

- ① Accounts MigrationのWelcomeセクションのMigrate Accountsの[SELECT]をクリックする
- ② ACCOUNTSタブでマッチング対象のアカウントを選択し、[MIGRATE ACCOUNTS]をクリックする
- ③ New Account Migration TaskのCustom Target Domainの[Custom domain name]を選択し、[Next]をクリックする
- ④ New Account Migration TaskのCustom Source Domainの[Custom source domain for routing]を選択し、[Next]をクリックする
- ⑤ New Account Migration TaskのScheduleの[Run now]を選択し、[Next]をクリックする
- ⑥ New Account Migration TaskのSummaryの[Finish]をクリックする
- ⑦ 移行元アカウントの情報をもとに移行先アカウントが作成され、マッチングされる
 - ☛ アカウントのマッチングの状況はTASKSタブ、EVENTSタブで確認可能
 - ☛ アカウントのディスカバリーの完了後、WelcomeセクションのMigrate Accountsがになる
ODMでアカウントをマイグレーションしない場合はでなくとも問題なし
- ⑧ プロジェクト名をクリックする (次はメール移行を実行)

On Demand Migrationの操作手順 #9

6. プロジェクトでメールボックスをマイグレーション

- ① Content MigrationのMailセクションの[OPEN]をクリックする
- ② Getting StartedセクションのMigrate mail and OneDriveの[mail]をクリックする
- ③ MAILBOXEタブで**移行対象のアカウントを選択**し、[MIGRATE MAIL]をクリックする
- ④ New Mail Migration TaskのLicensing Planで以下を選択し、[Next]をクリックする
 - [Assign a license plan to target mailbox accounts]を選択
 - Select the license planで移行先Microsoftテナントで契約しているサブスクリプションを選択
 - [Assign the plan to unlicensed accounts. Licensed accounts will retain their plans.]を選択
- ⑤ New Mail Migration TaskのMigration Optionsで移行対象を選択し、[Next]をクリックする
- ⑥ New Mail Migration TaskのMail Flowでメール転送を選択し、[Next]をクリックする
- ⑦ New Mail Migration TaskのMail Foldersで移行対象のフォルダを選択し、[Next]をクリックする
- ⑧ New Mail Migration TaskのData Rangeで移行対象データの期間を選択し、[Next]をクリックする
- ⑨ New Mail Migration TaskのNotificationでメール通知を選択し、[Next]をクリックする
- ⑩ New Mail Migration TaskのScheduleの[Run now]を選択し、[Next]をクリックする
- ⑪ New Mail Migration TaskのSummaryの[Finish]をクリックする
 - ☛ メール移行の状況はTASKSタブ、EVENTSタブで確認可能
- ⑫ メールデータが移行される
- ⑬ DASHBOARDタブをクリックする (次はOneDrive移行を実行)

On Demand Migrationの操作手順 #10

7. プロジェクトでOneDriveをマイグレーション

- ① Content MigrationのMailセクションの[**OPEN**]をクリックする
- ② Getting StartedセクションのMigrate mail and OneDriveの[**OneDrive**]をクリックする
- ③ ONEDRIVEタブで**移行対象のアカウントを選択**し、[**MIGRATE ONEDRIVE**]をクリックする
- ④ New OneDrive Migration TaskのMigration Optionsで重複データの更新方法を選択し、[**Next**]をクリックする
- ⑤ New OneDrive Migration TaskのVersion Optionsで履歴データの更新方法を選択し、[**Next**]をクリックする
- ⑥ New OneDrive Migration TaskのAttribute Optionsでアクセス権の移行方法を選択し、[**Next**]をクリックする
- ⑦ New OneDrive Migration TaskのLicensing Planで以下を選択し、[**Next**]をクリックする
 - [**Set license at the target**]を選択
 - Select the license planで移行先Microsoftテナントで契約しているサブスクリプションを選択
 - [**Assign the plan to accounts without OneDrive for Business. Licensed users will retain the plans**]を選択
- ⑧ New OneDrive Migration TaskのItems to Excludeで移行条件を指定し、[**Next**]をクリックする
- ⑨ New OneDrive Migration TaskのScheduleの[**Run now**]を選択し、[**Next**]をクリックする
- ⑩ New OneDrive Migration TaskのAuto Re-runで自動再実行を選択し、[**Next**]をクリックする
- ⑪ New OneDrive Migration TaskのSummaryの[**Finish**]をクリックする
- ⑫ OneDriveデータが移行される
- ⑬ プロジェクト名をクリックする (次はSharePointのConfigurationを実行)

On Demand Migrationの操作手順 #20

8. プロジェクトでPublic FoldersのConfigure Connectionを設定

- ① Content MigrationのPublic Foldersセクションの[**OPEN**]をクリックする
- ② Getting StartedセクションのPreparationの[**Configure Connections**]をクリックする
- ③ Configure ConnectionsのConnectionsの[**Source**]をクリックする
- ④ Configure Connectionで以下を設定し、[**Save**]をクリックする
 - Administratorに移行サービスアカウントを設定
 - Passwordに移行サービスアカウントのパスワードを設定
- ⑤ Configure ConnectionsのConnectionsの[**Target**]をクリックする
- ⑥ Configure Connectionで以下を設定し、[**Save**]をクリックする
 - Administratorに移行サービスアカウントを設定
 - Passwordに移行サービスアカウントのパスワードを設定
- ⑦ Configure ConnectionsのConnectionsの[**Finish**]をクリックする

9. プロジェクトでPublic Foldersをディスカバリー

- ① Getting StartedセクションのPreparationの[**Discover Public Folders**]をクリックする
- ② New Discovery TaskのScheduleの[**Run now**]を選択し、[**Next**]をクリックする
- ③ New Teams Migration TaskのSummaryの[**Finish**]をクリックする
- ④ PUBLIC FOLDERタブにパブリックフォルダが表示される
 - ☛ Public Folderのディスカバリー状況はTASKSタブ、EVENTSタブで確認可能

On Demand Migrationの操作手順 #21

10. プロジェクトでPublic Foldersを移行

- ① Getting StartedセクションのMigrationの[Migrate Public Folders]をクリックする
- ② PUBLIC FOLDERSタブで該当のパブリックフォルダを選択し、[MIGRATE PUBLIC FOLDERS]をクリックする
- ③ New Migration TaskのOptionsを選択し、[Next]をクリックする
- ④ New Migration TaskのScheduleの[Run now]を選択し、[Next]をクリックする
- ⑤ New Teams Migration TaskのSummaryの[Finish]をクリックする
- ⑥ パブリックフォルダが移行される
 - ☛ Public Folderの移行状況はTASKSタブ、EVENTSタブで確認可能